

令和6年11月2日

芦屋市市長公室企画部市民参画・協働推進課

課長 小川 智瑞子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

リードあしや de ギャラリーマルシェ 報告書

- 1 日 時：令和6年10月27日（日）10：00～16：00
- 2 担 当：出口
- 3 参加団体：11団体
minon、日本スリランカ友の会関西、生きがいデイサービス、ワールドホープ、就労継続支援 B 型ライラック、Chie&Yoshi、工藤成子さん、花農園、(社福)三田谷治療教育院芦屋翠ホーム、就労継続支援 B 型さんさんワークス、西宮友の会芦屋方面、リードあしや
- 4 参加者数：73名、スタッフ28名 計101名
- 5 内 容：ギャラリースペース利用者や市民活動団体が自団体の活動内容やPRのために示販売し、活動にちなんだワークショップを行う。
- 6 参加者からの振り返り
 - ・来場者は少なかったが、ゆったり流れる時間の中、来場者との交流ができた。
 - ・他の出展者と交流ができ、次の活動につながった。
 - ・出展団体同士での交流ができた。コラボの活動につながった。
 - ・ものづくりへの興味や出来上がった時の喜びなどを体験できることを次回考えたい。
 - ・可能であるならば、駐車場にテントを設置し、野外で販売することでお客さんを引きつけ、そこから館内にある1階のカフェへ誘導して2階へ導いていくのはいかがでしょうか？
 - ・ギャラリーマルシェを今後も実施してほしい。
- 7 全体の振り返り
 - ・芦屋市内のイベントと重なり来館者が少なかったが、各団体の売り上げとしてはしっかりあったようだ。通りすがりの方よりも、ギャラリーマルシェそのものを楽しみにしている方がお買い物や交流を楽しんでいただいたと感じている。
 - ・PCからの音に敏感な出展者が、直接団体に注意してしまい開催前に場所移動を余儀なくされた。音を出していた団体は恐縮してしまい場所を変えてもほとんど音を出さなかった。音の件は今後の検討していく。
 - ・出展者を募集した時点で、出展をなかなか決めることができず、直前に決定する団体が数件あった。そのためにチラシの作成に時間がかかり、広報が少し遅れることになった。

- ・ 出展団体同士の交流から一緒に活動する団体が生まれたことはとても嬉しいことで、次の活動につながるよう今後も支援していきたい。

8 今後の対応

- ・ 当日イベントを実施していることを外に見える様に掲示物を考えていきたい。
- ・ イベントの中で出展者同士が交流できる仕組みを検討しても良いと感じた。

9 実施の様子



minon



日本スリランカ友の会関西



生きがいデイサービス



ワールドホープ



就労継続支援 B型 ライラック



Chie & Yoshi



工藤 成子さん



花農園



(社福) 三田谷治療教育院
芦屋翠ホーム



就労継続支援 B型さんさんワークス



西宮友の会芦屋方面